



「みょうが餅づくり」を通して、

おばちゃんたちとの楽しい時間

6月25日(木)、今年も「更生保護女性の会」のご協力を得て「みょうが餅づくり」を実施できました。みょうがの葉とあんこ皮の材料は、おばちゃん5人が下準備をしてもってきていただきました。子どもたちはおばちゃんたちに見守られながら、あんこを適量とって、皮を伸ばして、皮であんこを包んで、最後にみょうがの葉を巻く作業を楽しみました。蒸して完成するまでの間には、おばちゃんたちと一緒に色々な

ふれあい遊びを楽しみました。その中で突然担任が「自分のめざしたい夢がある子!」と問いかけると、次々と手を上げて「私は保育園の先生になりたいです。」「ぼくはサッカーの先生になりたいです。」「私はこども園の先生になりたいです。」「ぼくはダンプカーの運転手になりたいです。」と続けました。その度に「オー!!」「すごーい!」とおばちゃんたちも手をたたいたり、子どもをギュッと抱きしめたりしてくださいました。

さて、蒸しあがったみょうが餅を子どもたちがワゴンで運んできました。子どももおばちゃんたちもニコニコ顔です。「いただきまーす!」、一斉に頬張りましたと言いたいところですが、そうはいきませんでした。ホカホカ過ぎて持てなかったり、みょうがの葉っぱをくくずりながらはがしたり、一人一人が口に運ぶまでの景色も様々で、5人の方は食べることも忘れるくらい、そんな子どもたちの顔やしぐさを見つめて優しい笑みを浮かべてみえました。「なんかうまくできてる感じ」「あまい!」「おいしー!」「いいにおいがするよ」とつぶやきも様々で、「おかわりくーださい!」の声まで出ました。こんな素敵なみょうが餅の手作りとふれあいお茶会が今年もできたこと、更生保護女性の会の皆様に心より感謝申し上げます。



「更生保護女性の会」読み聞かせ（6月19日）

今回は「なかよし組（3・4歳児）」が聞きましたが、来ていただいたお二人は年長児（5歳児）を思い浮かべて絵本を選んでくださいました。おばちゃんが「準備した紙芝居は少し難しいから他の本に変えようか？」と言われると「紙芝居が聞きたいです！」と子どもが言うので、そのまま紙芝居をやっていただきました。確かに少し長めの紙芝居の間中、子どもたち



ににこやかな笑みはありませんでしたが、「聞きたいといった以上は難しくたって聞こう！」という真剣顔を見せていました。その姿勢も、子どもたちが読み聞かせを楽しみにしている気持ちの表れのように思いました。後の二つの絵本は手拍子打ったり思いを声にして参加したりして楽しめましたね。改めて、読み聞かせをしていただく対象児の連絡ミスをお詫び申し上げます。

長瀬体育館に「ちびっこ野球選手」集合！！

～野球夢道（ゆめロード）プロジェクト【ベースボール型スポーツ体験教室】～

6月26日（金）、下牧こども園・牧谷保育園・清泰保育園、合わせて17人の年長児が長瀬体育館に集合し、「野球体験教室」を開催しました。講師は、「元広島カープ・酒井大輔氏」と、日本プロスポーツ専門学校の学生4人です。酒井氏のご指導で、「捕球のコツ」「投げ方」「打ち方」「3園対抗ゲーム」と展開しました。酒井氏が子どもたちに「できた人！」と声を投げると、ボールを持った手を上げて「ハイ！」の音が体育館に響きます。打つときは「いくぞー！」の子どもの声の力がバットスイングにもつながっていました。担任も参加した3園対抗ゲームは、下牧の子たちが勝利できました。最後には、酒井氏と4人の学生みんなとハイタッチして、夢のような楽しい時間が閉じていきました。この続きは、また私とやりましょう。

